

スポーツ団体組織統合に関する提案書

スポーツ団体組織統合検討会議

本資料 目次

組織統合議論の経過

組織統合の提案理由	4
組織統合に向けたこれまでの協議経過	5
スポーツ団体組織統合検討会議における基本的合意内容	8

新組織について

組織の名称	10
組織の所在地・ロゴマーク	11
理念	12
新組織の全体像	13
予算	14
加盟団体・人数	15
今までと変わらないこと	16
現行のスポーツ協会補助金フロー	17
新組織の一般会員（競技団体）向け補助金フロー	18
現行のスポーツ少年団補助金フロー	19
新組織のジュニアスポーツ会員補助金フロー	20
業務	21
組織体制	27

新事務局体制について

事務局体制	30
新規人材確保の財源	35

今後のスケジュール

スケジュール	37
--------	----

参考資料

全国の地域スポーツコミッション設置状況	39
---------------------	----

組織統合議論の経過

組織統合の提案理由

ポジティブな理由

- ・スポーツの価値が高まっている
- ・スポーツによる街づくりが求められている
- ・国の施策、スポーツの産業化へ
- ・健康志向の高まり

ネガティブな理由

- ・人口減少
- ・スポーツ団体の組織運営が厳しい
- ・ジュニア選手の減少



コミッション形態による組織統合を提案

- ・市内のスポーツ団体が一枚岩になれること
- ・官民連携組織の法人組織で、地域が連動したスポーツ事業が展開できること
- ・施設と事業、両輪で運営できること
- ・スポーツで幅広く街づくりに貢献できること
- ・地域におけるスポーツ産業化が推進できること

組織統合に向けたこれまでの協議経過

スポーツ団体組織統合検討会議設置

代表者会議

所属	役職	氏名
Nスポーツコミッション	会長	加藤 剛士
風連町スポーツ協会	会長	日根野 正敏
風連町スポーツ協会	理事長	菊池 慎二
風連町スポーツ協会	理事	筒井 正敏
風連町スポーツ協会	事務局長	明石 裕
名寄市体育協会	会長	吉田 肇
名寄市体育協会	副会長	梅野 博
名寄市体育協会	副会長	国府 壮
名寄市体育協会	専務理事	石川 孝夫

検討会議

所属	役職	氏名
風連町スポーツ協会	理事長	菊池 慎二
風連町スポーツ協会	理事	筒井 正敏
風連町スポーツ協会	事務局長	明石 裕
名寄市体育協会	理事	遠藤 和之
名寄市体育協会	事務局長	安澤 豊
名寄市体育協会	総務課長	名和谷香代
名寄市議会		山田 典幸
名寄市議会		山崎真由美
名寄市	特別参与	阿部 雅司
名寄市	総合政策部長	石橋 毅
Nスポーツコミッション	副会長	遠藤 貴広
Nスポーツコミッション	委員	荻野 大助
NPO法人ETIC	マネージャー 事業本部	加勢 雅善
渡邊靖雄公認会計士事務所	公認会計士	渡邊 靖雄

組織統合に向けたこれまでの協議経過

	会議	協議内容
R 4 年 2月2日	3者会議	名寄市長（Nスポ会長）から名寄体協会長、風連スポ協会長に対して3団体統合の提案を行う
7月15日	第1回 スポーツ団体組織統合検討会議	組織統合素案の説明、及び今後の会議の進め方
8月20日	第2回検討会議	本会議の目的や役割、新組織におけるビジョンの形成
8月29日	第1回スポーツ団体組織統合 事務担当者会議	今後のスケジュール、両組織の現状、次回会議予定・協議内容
10月11日	第3回検討会議	新組織における活動方針、及び事業
11月14日	第4回検討会議	新組織における実施すべき具体的な事業、及び財源確保
12月19日	第5回検討会議	新組織における具体的な財源確保、及び組織・人事
令和5年 2月9日	第1回代表者会議	第1～5回検討会議の協議内容報告、及び今後の方針確認
2月16日	第6回検討会議	
3月・5月	各団体の機関会議	名寄市体育協会、風連町スポーツ協会、Nスポーツコミッション各団体で総会や理事会など決定機関で統合にむけた承認へ
6月15日	第2回スポーツ組織統合事務担当者会議	新組織の体制や人材採用案、名称についての素案形成

組織統合に向けたこれまでの協議経過

検討会議の議事録をホームページで公開



スポーツ団体組織統合検討会議における基本的合意事項

1. 令和5年度中に一般財団法人名寄市体育協会、風連町スポーツ協会、Nスポーツコミッション、この3つの団体を統合すること
2. 組織統合については、一般財団法人名寄市体育協会の法人格を使い、名称変更と役員の刷新すること

新組織について

一般財団法人 Nスポーツコミッションなよろ

新組織ではスポーツ推進やスポーツ環境の維持だけでなく、他団体・企業などとの協働で新しい価値の創出をしていくことを目指しており、その点から鑑みると「スポーツコミッション」の名称がふさわしく、また人口減少社会の中で、広域連携もさらに広まることも踏まえて、名寄市に特化しない名称が良いと判断した。

ただ、「Nスポーツコミッション」の名称では、どの地域の団体なのか、一目でわかりにくいこともあり、コミッションの後ろに「なよろ」の文字を入れました。また、今後、「なよろ」の部分に近隣地域の名称を入れるなど、他地域での事業展開も視野に入れていきます。

頭文字の**N**はNayoro・North・Network・Navigator・Newの意味が込められています

組織の所在地・ロゴマーク

【所在地】

〒096-0012

名寄市西7条南12丁目

名寄市スポーツセンター内



【ロゴマーク】

現Nスポーツコミッションのロゴがベース
になっている



N SPORTS COMMISSIONなよろ

3つの理念

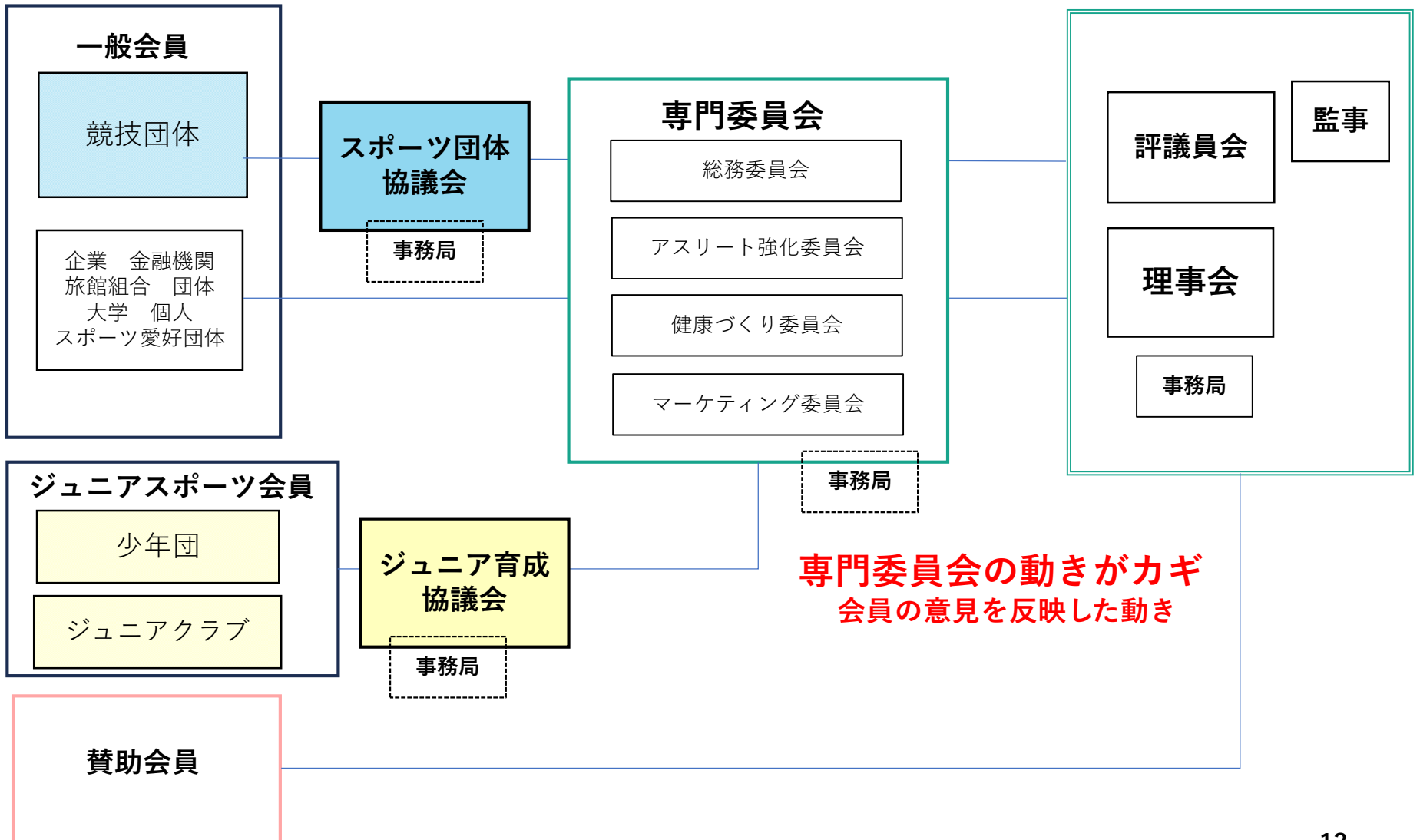
- 1 身体的、精神的、社会的に良好な市民が暮らす街
- 2 街の資源を利活用し、産業・経済が好循環する街
- 3 新たな価値や良い人材を生み出し、
日本・世界に提供していく街

私たちはスポーツを通じて、街づくりを実現していきます

私たちはスポーツを通じて、多様な人や組織と協働して地域に貢献します

私たちはスポーツを通じて、新しい価値を創出していきます

新組織の全体像



予 算

統合後

一般財団法人 Nスポーツコミッションなよろ
100,061千円/年

(指定管理87,061千円 + 補助金・運営資金13,000千円)

統合前

名 寄 市

風連町スポ協
1,140千円

少年団補助金
組織運営補助金

名寄市体協
90,061千円

指定管理費
ジュニア競技力強化補助金
組織運営補助金

Nスポ
8,860千円

育成・健康づくり等負担金
経済活性・まちづくり負担金
組織運営負担金

加盟団体数・人数

統合後

一般財団法人 Nスポーツコミッションなよろ

61団体2,784人

統合前

風連地区少年団
5団体64人

名寄地区少年団
9団体201人

風連町スポ協
8団体211人

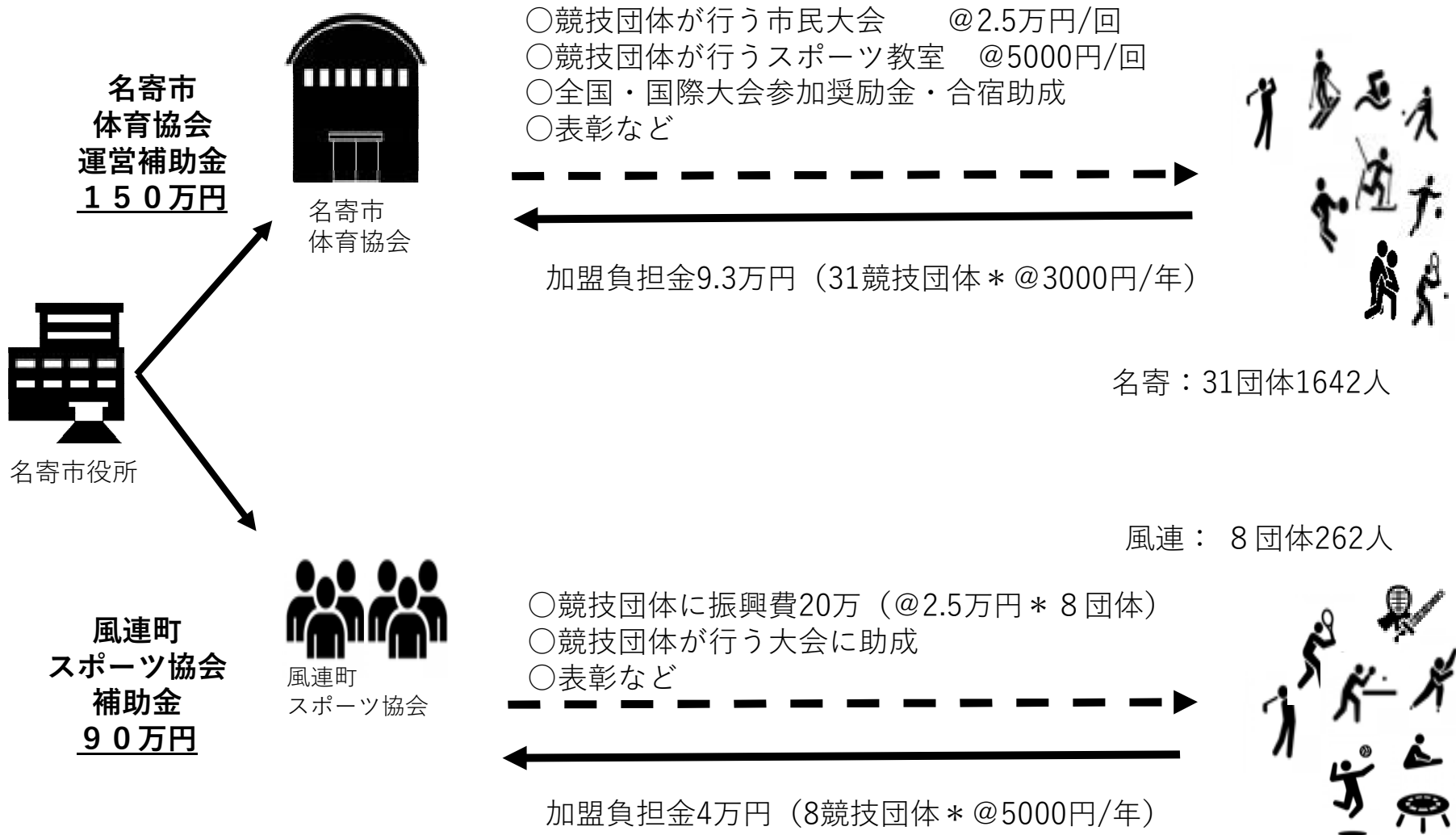
名寄市体協
31団体2,279人

Nスポ
8団体29人

今までと、変わらないこと

1. 北海道スポーツ協会の登録業務
2. 北海道スポーツ少年団登録業務・上川管内スポーツ少年団連絡協議会加盟
3. 3団体（名寄体協・風連スポ協、Nスポ）の事業は継続
4. 新組織一般会員の年会費3,000円（名寄体協加盟団体は同額、風連スポ協会は減額）。ジュニアスポーツ会員の年会費は、一団体当たり、選手数に600円を乗じた金額に指導人数に1,200円を乗じた金額1,200円/年）
5. 名寄市体育協会の指定管理業務委託 87,061千円（R7年度まで）
6. 名寄市からの補助金
 - (1) 名寄市体育協会
 - ①運営補助金 1,500千円
 - ②ジュニア競技力強化事業補助金 1,500千円
 - (2) 風連町スポーツ少年団
 - ①スポーツ少年団補助金 240千円
 - ②スポーツ協会補助金 900千円

現行のスポーツ協会補助金等フロー



新組織の一般会員（競技団体）向け補助金フロー

競技団体等支援（R4年度の名寄体協・風連スポ協、加盟団体）

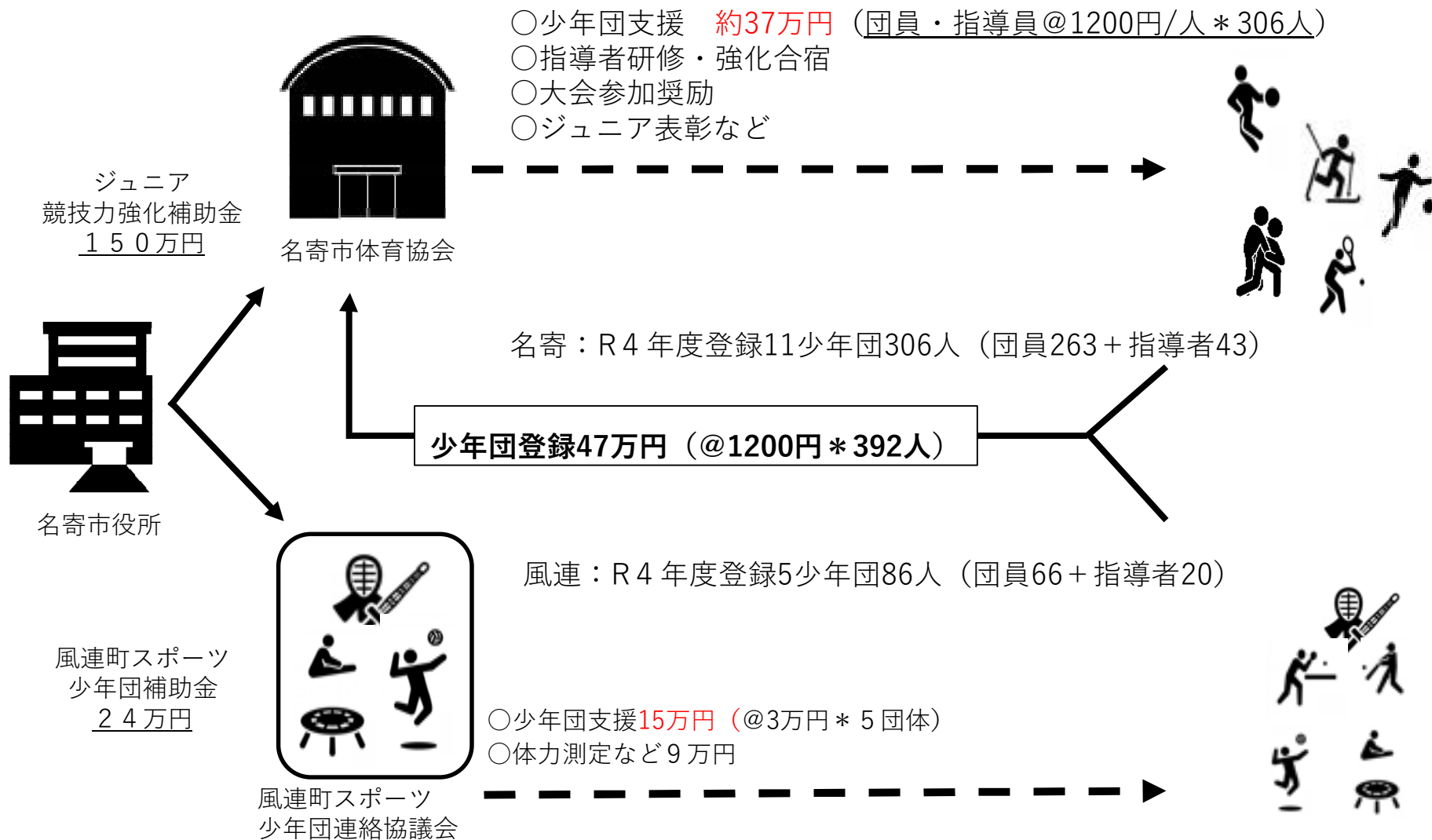
- 競技団体が行う市民大会 @25,000円/回
- 競技団体が行うスポーツ教室 @5,000円/回



会員登録

- 団体登録が必要
 - ・原則として10名以上で構成する団体。但し、R4年度にスポーツ協会登録を行っている競技団体はこの限りではない
- 年会費
 - ・1団体当たり@3,000円/年

現行のスポーツ少年団補助金フロー



新組織のジュニアスポーツ会員向け補助金フロー

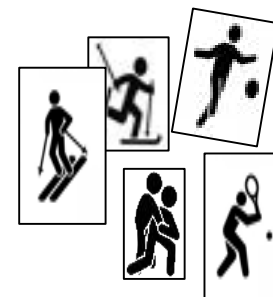


名寄市役所



会員支援

- 1団体当たり基本支援として@3万円/団体（団員・指導者含めて25人まで）と26名以上の登録がある場合は、26人目から一人当たり@1200円/人を加算して支援する



会員登録

- 団体登録が必要
 - ・ 原則としてジュニア10名以上、指導者2名以上で構成する団体。
但し、R4年度に少年団登録を行っている少年団はこの限りではない
- 年会費
 - ・ ジュニア・指導者共に1人当たり@1200円/人を積算した金額

業務

運営資金調達等に関する新たな業務に加えて、3団体（名寄体協・風連スポ協、Nスポ）が実施している業務は、当面、継続します。

区分	内 容
新たな業務	<ul style="list-style-type: none"> ①運営資金調達に関する事業 ②中学運動部活動の地域意向に関する業務 ③ジュニア育成に関する新たな環境構築に関する業務
名寄体協	<p>【主催・共催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①一般向け長期スポーツ教室 ②子ども向け短期スポーツ教室 <p>【競技団体関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①日本・北海道スポーツ協会登録業務 ②加盟団体主催教室・講習会・市民大会助成 ③競技力向上強化事業助成（合宿・指導者養成） ④スポーツ表彰 <p>【少年団事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①日本・北海道スポーツ少年団登録業務 ②スポーツ少年団合同体力テスト（年1回） ③少年団活動助成 <p>【施設関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①指定管理業務（R3～R8 7施設）

業務

区分	内 容
風連 スポ協	<p>【主催事業】 ①風連地区市民パークゴルフ大会</p> <p>【競技団体関連】 ①加盟団体主催大会助成（PG・ソフトテニス・卓球・トランポリン） ②スポーツ表彰</p>
Nスポ	<p>【主催・共催事業】 ①健康づくりイベント ②障がい者スポーツイベント ③スポーツ・運動機会創設イベント ④幼稚園・保育所トレーナー派遣 ⑤健康科学による市民健康づくり事業</p> <p>【ジュニア育成事業】 ①ジュニアスポーツアカデミー ②スポーツ講演会 ③北海道ジュニアスポーツエコシステム事業（部活動関連）</p> <p>【経済活性化事業】 ①大会・合宿誘致 ②スポーツフード開発・研究 ③スポーツツーリズム</p>

組織体制（会員）

会費制で新組織の活動趣旨に賛同いただける団体・個人で構成される。

区分	内 容
一般会員	<ul style="list-style-type: none">・年会費3,000円/団体・競技団体（R4年度名寄体協・風連スポ協加盟団体）・スポーツ愛好団体・スポーツクラブ・企業・団体
ジュニア会員	<ul style="list-style-type: none">・年会費一人当たり1,200円/団体・ジュニア選手（18歳以下）10名以上、指導者2名以上で構成する団体
賛助会員 （スポンサー）	<ul style="list-style-type: none">・年会費は団体賛助会員は1口5,000円/年、個人は一口2,000円/年※税法上の優遇措置は受けられません。※賛助会員の特典は以下のとおり

組織体制（評議員会・理事会・監事）

区 分	内 容
評議員会	基本的な業務執行体制（理事・監事等の選任・解任）や業務運営の基本ルール（定款の変更）を決定するとともに、計算書類の承認等を通じて、法人運営が法令や定款に基づき適正に行われているか監視する
理事会	<ul style="list-style-type: none">・当団体の目的やミッション、方針を定め、それらを実現するために人材採用計画や事業計画・経営計画を策定する・各委員会からの提言を受けて、事業計画や予算の検討と実施の決定、役割や権限の分担の決定・会則、諸規定の立案・改定等の決定する・当団体の理解者・寄附・協賛・会員獲得のための企画立案
監事	監事は理事の職務の執行及び会計を監査する立場にあり、その性格・役割からして独立性の強い機関です。

組織体制（評議員会・理事会・監事の人数構成）

◆評議員 9名（原則3名以上、任期4年）

名寄市体育協会加盟団体推薦	3名	} ※現役員を除く
風連町スポーツ協会加盟団体推薦	3名	
Nスポーツコミッション加盟団体推薦	2名	
名寄市推薦	1名	

◆理事 5名（原則3名以上 任期4年）

名寄市体育協会加盟団体推薦	1名	} ※現役員を除く
風連町スポーツ協会加盟団体推薦	1名	
Nスポーツコミッション加盟団体推薦	1名	
名寄市推薦	1名	（特別参与 阿部雅司氏）
事務局長兼専務理事	1名	（新規採用）

◆監事 2名（原則1名以上）

名寄市体育協会監事	1名	継続
公認会計士	1名	新規選任

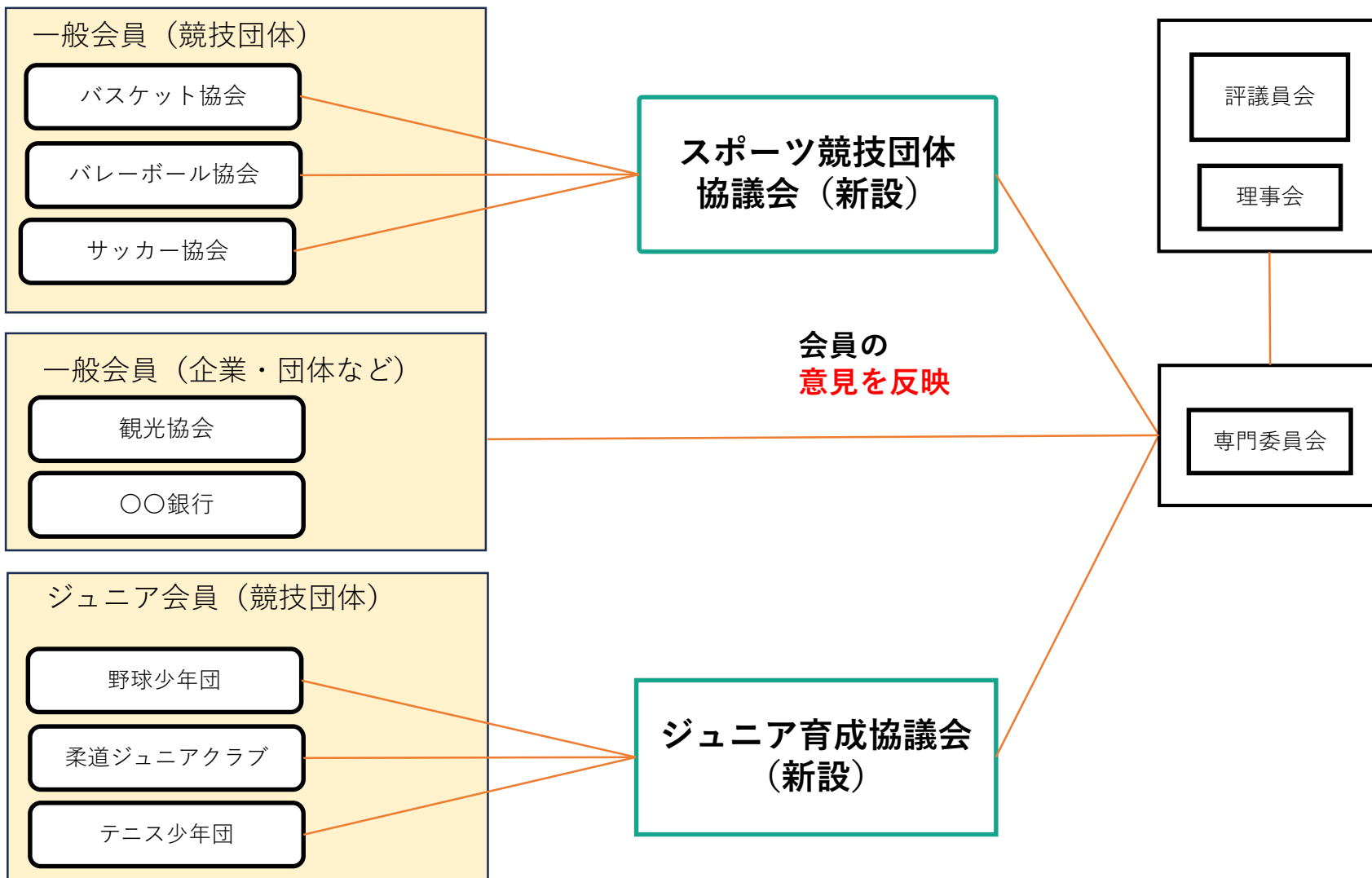
組織体制（専門委員会）

各専門委員会のメンバーに協議会からも人が入る。またパートナー法人からも入る。
各協議会で挙がってきたことを参考に、事務局と協働して事業立案し、理事会に上申する

委員会	内 容
総務委員会 5名程度	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会の連絡調整 ・会費 ・表彰に関する事項・会則、諸規定の立案・改定等に関すること ・事務局の運営、諸会議の運営に関する事項や、他の専門委員会に属さない、または委員会を横断するプロジェクトに関してこと
アスリート強化 委員会 5名程度	<ul style="list-style-type: none"> ・選手の強化、競技力向上に関すること ・強化・普及に関する補助金、助成金に関すること ・コーチの指導力向上に関すること ・競技の普及に関すること ・部活動地域移行に関すること ・北海道ジュニアスポーツエコシステムに関すること
健康づくり 委員会 5名程度	<ul style="list-style-type: none"> ・市民のスポーツによる健康づくりに関すること ・市民の健康づくりに関する調査、研究に関すること（名寄市立大学・名寄市立病院との連携⇒将来的な地域トレセン化）
マーケティング 委員会 5名程度	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツツーリズムに関すること ・大型スポーツ大会運営、合宿誘致に関すること ・寄附・協賛収入獲得のための商材研究・開発に関すること ・協賛企業・団体との連絡・調整・折衝に関すること ・賛助会員獲得に向けたプロモーションに関すること

組織体制（会議体全体像）

“会員の**意見**を反映できる組織づくり”



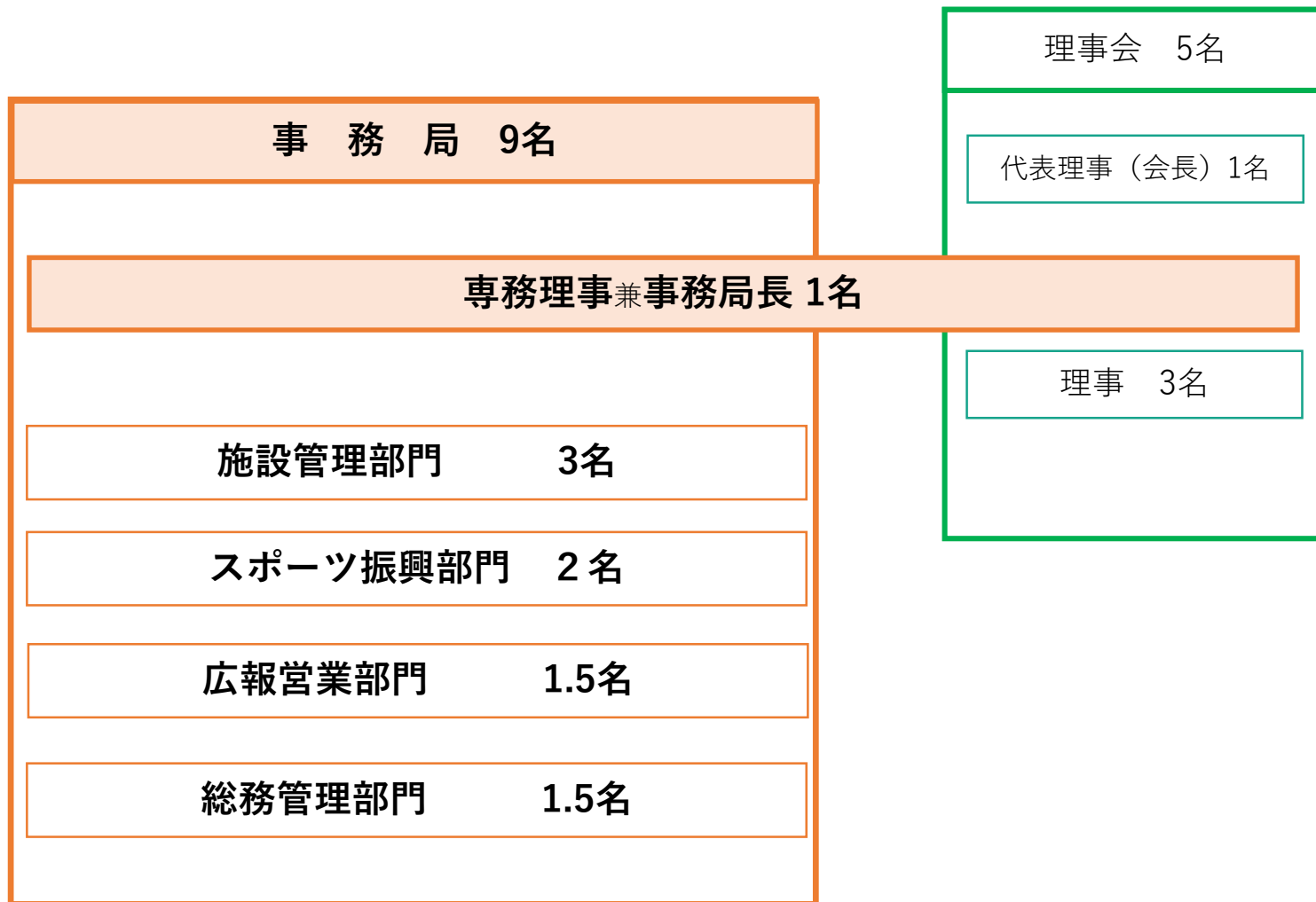
組織体制（協議会）

- ・協議会で組織の運営・事業内容について意見交換を行い、その内容を専門委員会に事業設計に反映させる
- ・年2回程度、協議会を開催

	内 容
スポーツ競技団体協議会	<ul style="list-style-type: none">・スポーツ振興に関する事項について、専門委員会に提言を行う・各団体の事業計画等の情報共有を図り、共通の課題等について意見交換を行う・各団体の1名を協議会に派遣してもらう
ジュニア育成協議会	<ul style="list-style-type: none">・ジュニアスポーツ振興に関する事項について、専門委員会に提言を行う・部活動も含めて、ジュニア選手の育成環境について、専門委員会に提言を行う・各団体の事業計画等の情報共有を図り、共通の課題等について意見交換を行う・各団体1名を協議会に派遣してもらう

新事務局体制について

事務局体制（全体像）



事務局体制（人数構成）

計50名（うち常勤5名）

スポーツ組織・団体

名寄市体育協会 27名
 会長 1 副会長2
 評議員 11 理事7
 監事 1
 ○専務理事1 ○事務局4

風連町スポーツ協会22名
 会長 1 副会長2
 理事長 1 理事15
 監事2 事務局 1

Nスポーツ Kommission
 事務局 1

令和5年度中～

評議員 9名
 理事 5名※専務理事兼事務局長含む
 監事 2名

事務局 9名

専務理事兼事務局長1名 ※新規採用
 施設管理部門 3名
 スポーツ振興部門 2名 ※新規採用
 広報営業部門 } 3名 ※うち1名新規採用
 総務管理部門 }

常勤 計7名

名寄市総合政策部

スポーツ・合宿推進課 6名
 兼体育施設管理課（学校開放）
 課長1名 主幹1名 係4名

風連地区スポーツ施設担当 3名
 参事1名 係2名
 ※施設担当は実質0.5-1人工

令和5年度中～令和7年度

新組織の採用状況に合わせて、最長令和7年度を目途に、**人材支援（新組織事務での勤務）**を行う。

これに合わせて、スポーツ・合宿推進課の配置人数を削減していく。配置人数2～3名程度まで削減見込み。

事務局体制（構成・役割）

	内 容
専務理事兼事務局長	<ul style="list-style-type: none"> ・全体統括、予算・決算など計画・戦略設計、事業執行責任者 ・全部門のマネジメント ・新規事業がメインで動くスポーツ推進部門に関しては部門長も兼ねる。
施設管理部門	現名寄市体育協会、名寄市（風連施設）を中心に、指定管理受託をする。
スポーツ振興部門2名	ジュニアスポーツエコシステム形成事業、市民健康増進事業（教室・イベント）、ジュニアスポーツアカデミー、部活動地域移行コーディネーター ※主にアスリート強化委員会、健康づくり委員会と紐付く
広報営業部門1.5名	SNS・情報発信、ファンドレイジング（資金調達）、企業や他団体連携による団体価値向上。 ※主にマーケティング委員会と紐付く。広報の部分は他の委員会にも紐付く
総務管理部門	総務・人事・経理。少年団登録やスポーツ表彰、補助・助成事業の実務。会議体運営（5つの専門委員会、理事会、評議会など）。 ※主に総務委員会と紐付く

新規人材確保の財源

新規採用人材確保に必要な費用23,000千円となるが、原則、国の補助金（10/10）を活用する。
なお、補助金制度がなくなった場合は、市のスポーツ担当職員数を削減することで、その人件費相当分（23,173千円）を人材確保に充てる。 ※別紙資料①②参照

風連体育施設指定管理委託後
R8～

名寄市スポーツ担当3人
風連地区担当含む・会計年度任用職員含む

人件費

17,595千円

統合後
R6～

名寄市スポーツ担当3人
風連地区担当含む

人件費

25,243千円

R5比較

△23,173千円

統合前
R5～

名寄市スポーツ担当6人
風連地区担当含む

人件費

40,768千円

R5比較

△15,525千円

今後のスケジュールについて

スケジュール

R5年度		
7月	中旬	<p>①名寄市体育協会 第2回理事会 ・新組織に関わる素案内容に関する協議</p> <p>②名寄市体育協会 評議委員会 ・新組織に関わる素案内容に関する協議</p> <p>③名寄市体育協会加盟団体代表者会議 ・新組織に関わる素案内容に関する協議・意見交換</p>
8月	中旬	<p>④組織統合代表者会議 or 3者会議 ・新組織に関わる素案の決定（名称・組織体制・事業・役員等）</p>
	下旬	<p>⑤名寄市体育協会 第3回理事会 ・組織統合代表者会議 or 3者会議における決定事項の協議・承認</p> <p>⑥名寄市体育協会 臨時評議委員会 ・名寄市体育協会第3回理事会の決定事項の協議・承認</p>
9月	中旬	<p>⑦組織統合代表者会議 or 3者会議 ・新組織設立に関する事項の最終確認（名称・組織体制・事業・役員等）</p>
	下旬	<p>⑧名寄市体育協会 第4回理事会 ・新組織設立に関する事項の協議・承認</p>

參考資料

全国の地域スポーツコミッション設置状況

全国の地域スポーツコミッション

195団体

道内の地域スポーツコミッション

22団体

地域スポーツコミッションとは（スポーツ庁の定義づけ）

地方公共団体、スポーツ団体、民間企業等が一体となり、スポーツによるまちづくり・地域活性化を推進していく組織

○組織要件

一体組織要件： 地方公共団体、スポーツ団体、民間企業・団体などが一体として活動を行っていること。

常設組織要件： 常設の組織であり、時限の組織でないこと。

○活動要件

域外交流活動要件： スポーツツーリズム・合宿・大会誘致など域外交流人口の拡大に向けたスポーツと地域資源を掛け合せた活動を主要な事業の一つとしていること。

広範通年活動要件： 単発的な活動ではなく、スポーツによる地域活性化に向けた活動を年間を通じて行っていること。